



今年度も10月になり後半に入りました。暑い暑いと言っていましたが、朝夕めっきり涼しくなり過ごしやすくなってまいりました。コロナウイルス感染症は、まだまだ心配なところですが、手洗いや消毒・検温などに気をつけて生活していきたいと思えます。今月末には学習発表会を開催いたします。例年どおりの実施とはいきませんが、学習の様子をお家の皆さんにご披露できるよう、子どもたちは頑張って練習しているところです。子どもたちが元気に参加できますよう、お家の方々には、健康管理や励ましの言葉掛けをしていただくとありがたいです。よろしくお願いいたします。

9・10月の教育活動

9/15(火), 2年生が町探検で、鹿島区内の郵便局や駐在所などを見学してきました。普段見られない場所を見せてもらうことができました。



9/16と30の金管クラブの練習に、今年も外部講師に来校いただきました。指導を受け、子どもたちは上手に演奏できるようになりました。



9/16(水)に、小児生活習慣病の検査がありました。血圧を測ったり採血したりと、子どもたちは緊張気味でした。



9/24(木), 6年生は自分たちで育てたジャガイモを使って、調理実習をしました。仕事を分担して手際よく作業を進めました。ジャーマンポテトは味加減がよく、上手に仕上がっていました。

9/24(木), 3年生は、社会科の学習でスーパーマーケットを見学してきました。バックヤードまで見る事ができました。お店の人達の工夫や思いを知ることができました。



9/25(金), 4年生は、クリーン原町センターを見学しました。家庭から出されるゴミがどのように処理されているか学習してきました。知らなかったことをたくさん教えていただきました。



10/2(金), パン・ノート・マジックの皆さんとアウトリーチコンサートを開きました。スティールパンという珍しい楽器で、シブリ映画の曲やクラシック、校歌を演奏してもらいました。

10/3(土), 資源回収を行いました。朝早くから、保護者の皆様や地域の方々の協力を得ながら、回収を進めることができました。収益金については、子どもたちのために使わせていただきます。ありがとうございました。



授業の挑戦



本校の主な研究
主体的・対話的で深い学びの実現
～ 伝えて つなげて 深めよう ～

5年 図画工作科の実践より
「糸のこスイスイ」

浅野先生は、「電動糸のこぎりの安全な使い方を知り、板をいろいろな形に切ることや組み合わせを工夫することができる」をねらいに授業を組み立てました。子どもたちは、糸のこぎりの安全な使い方を身に付け、曲線に切ることの楽しさを味わいながら様々な形を切り取っていました。さらに、切った板材の組み合わせ方を知り、楽しく作品作りに取り組みました。

現職教育校内研修会
～モデル授業「2年算数」～

9/29にモデル授業「2年算数 かけ算」を実施しました。山際先生は、「同じ数ずつのまとまりに着目し、いくつ分としてとらえ、たし算の式に表すこと」をねらいに授業を組み立てました。子どもたちは遊園地の絵から、同じ数のまとまりを見つけ式に表すことができました。事後研究会では、「授業の初めでまとまりのよさに気付かせる手立てがよかったことで、子どもたちがまとまりを意識して活動できていた」という意見が出ました。先生方がみんなで学ぶよい研修会となりました。

学年毎に食育の授業を実施しています！

9/4の5年生の授業を皮切りに、給食センターより栄養教諭を招いて、学年毎に食育の学習を行っています。9/15に4年生、10/2に2年生、10/6に3年生とご指導をいただきました。毎日元気に過ごすために、食事は大切です。学習をととおして自分の食事について見直してほしいと考えています。



4年生は、「朝ご飯をきちんと食べよう」というめあてで、自分の朝食について振り返りました。主食・主菜・副菜・汁物がそろったバランスのよい朝食を食べることで体にスイッチが入ることを学習しました。

2年生は、「食事マナーの達人になろう」というめあてで、食器の並べ方や食するときの姿勢、はしの持ち方について学習しました。色違いの2本のはしを使って動かし方を確かめ、正しい持ち方を練習しました。



3年生は、「正しいおやつを取り方を考えよう」というめあてで、おやつについて考えました。家でおやつを食べるときの正しい取り方や食生活のバランスについて教えていただきました。



八沢の光

先月隣の市で感染した中学生の件を機会に、新型コロナウイルスの影響による差別や中傷について各学級で話し合いました。「もし自分がかかったらどうだろう?」「友だちが感染して、治って戻ってきたときにそれまでと同じように関わることができるだろうか?」「そもそも、何が恐怖なの?」日本赤十字社で配信している動画などを見たり、実際にそうなったときの自分の行動について考えたりしました。ほとんどの子ども達は、「同じように接することができる」「リモートでお見舞いたい」など優しい気持ちを表した発言が見られよかったです。動画では「差別や中傷は過剰なまでの自己防衛本能が引き起こす」と言っています。冷静に行動できるよう心がけたいです。(文責:T)

日本赤十字社

